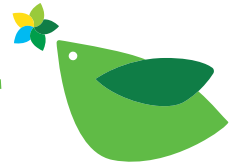


参議院選挙への挑戦にあたって



私たちがめざす議員像 みんなで一緒に国会に乗り込もう！

「永田町政治」の数の論理では新しい発想は生まれません。緑の党は国会議員と市民が対等な立場であるべきと考え、国会議員と共同代表の兼務を禁じ、議員も一人の市民として社会や市民活動に参加します。諸外国に比べても高すぎる議員報酬は「半減」を提言し、立法事務費・文書交通通信費などの全容と用途を公開します。また、議員だけで物事を決定せず、会員や市民との議論を大切にします。

政治を変えるためにまず市民が動くことが重要です。そして国会議員は、市民の声に常に寄り添いながら、行政機関や情報への容易な

アクセスや調査権などを活用し、市民の活動をサポートします。官僚や超党派の国会議員と市民との意見交換も積極的に進め、市民とともに議論しながら国会での質問や施策・法案の実現に発展させます。

また、緑の党は、市民に身近な自治体で市民派議員として活発な活動や経験を蓄積してきた多くの地方議員も60人以上が参加しています。そのネットワークと経験を活かし、市民の暮らしや地域の経済など切実な課題を国の政策議論に結びつけていきます。

参議院から合意と熟議の国会改革を

参議院には「衆議院の議論を繰り返すだけ（衆議院のカーボンコピー）」といった批判もあります。しかし、頻繁に解散のある衆議院と比べて、参議院はその時々政治的な「雰囲気」などに左右されず、冷静で時間をかけた議論を尽くすことが本来の役割です。実際、参議院は衆議院よりも無所属議員や小会派にも配慮されて運用されており、これまでも公共事業

のチェックなどで重要な役割を果たして来ました。緑の党は少数でも参議院の中で力を発揮し、市民社会や議会内での熟議民主主義を大切にしながら、市民とともに開かれた国会改革を実現します。

緑の党
グリーンズジャパン